

2019年1月11日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

「ファンベース」を基盤としたマーケティング支援事業を担う 合併会社設立の検討に関する基本合意書の締結について

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は本日、アライドアーキテクト株式会社(代表取締役社長:豊増貴久、以下「アライドアーキテクト」)および佐藤尚之氏(以下「佐藤氏」)との三者間で、「ファンベース」を基盤としたマーケティング支援事業を担う合併会社設立の検討に関して、基本合意書(以下「本合意書」)を締結しましたので、以下のとおりお知らせします。

1. 本合意書締結の背景と目的

近年、企業のマーケティング活動は大きな変革の時を迎えています。人口減少や高齢化による購買力の低下、そしてライフスタイルやメディア接触のあり方が多様化する中で、企業と生活者の関係づくりは複雑化を極めていきます。

こうした中、佐藤氏が2018年2月に出版した著作「ファンベース—支持され、愛され、長く売れ続けるために」で提唱した、自社の商品やサービスを支持してくれる「ファン」を大切に、「ファン」をベース(土台、支持母体)にして売り上げや価値を中長期的に向上していく考え方である「ファンベース」が、今後の企業活動において最重要になっていくと考えられます。

三者の共同出資により設立する合併会社では、野村グループの有する盤石な事業法人等との顧客接点、アライドアーキテクトのマーケティング支援ソフトウェアの開発力、佐藤氏が培ってきたマーケティング支援ノウハウを活かし、事業法人等のお客様の経営戦略に資する、「ファンベース」を基盤としたマーケティング支援サービスを展開する予定です。

野村グループは今後も、最も信頼できるパートナーとしてお客様に選ばれる金融サービス・グループを目指し、お客様の事業成長に寄与するさまざまなソリューションを提供していきます。

2. 今後の見通し

現時点で、本合意書の締結が当社の連結業績に与える影響は未定ですが、重要な影響を与えることが判明した場合には速やかに開示します。

3. 合併会社の概要

- (1) 商号 未定
- (2) 所在地 未定
- (3) 代表者 未定(野村ホールディングスから1名を予定)
- (4) 事業内容 「ファンベース」を基盤としたマーケティング支援事業(コンサルティング、マーケティング施策の企画・実行、ファンベース関連ソフトウェアの開発・提供等)
- (5) 資本金 未定
- (6) 設立年月日 2019年4月を目途に設立予定
- (7) 出資比率 野村ホールディングス51%、アライドアーキテクト44%、佐藤氏5%の予定
(今後三者で協議を行い最終的に決定します。)

4. アライドアーキテクトの概要

- (1) 商号 アライドアーキテクト株式会社
- (2) 所在地 東京都渋谷区恵比寿一丁目19-15 ウノサワ東急ビル4階
- (3) 代表者 代表取締役会長:中村壮秀、代表取締役社長:豊増貴久
- (4) 事業内容 デジタルマーケティング支援事業
- (5) 資本金 823百万円(2017年12月末時点)
- (6) 設立年月日 2005年8月30日

5. 佐藤尚之氏のプロフィール

1961年東京生まれ。1985年、株式会社電通入社。コピーライター、CMプランナー、ウェブ・ディレクターを経て、コミュニケーション・デザイナーとしてキャンペーン全体を構築する仕事に従事。2011年に独立し株式会社ツナグ設立。「ファンベース」の提唱者である佐藤氏は、コミュニケーション・ディレクターとしてこれまで広告コミュニケーションを中心に多くの企業のマーケティング施策に携わり、豊富な実績と知見を有しています。現在は広告コミュニケーションの仕事の他に、「さとなおオープンラボ」や「さとなおリレー塾」「4th(コミュニティ)」などを主宰。最新刊は「ファンベース」(ちくま新書)。他の著書に「明日の広告」「明日のコミュニケーション」(ともにアスキー新書)、「明日のプランニング」(講談社現代新書)など。

以上